

—「らうす自然講座 第3回冬の羅臼で見られる海辺の鳥」—

講師：藤井 薫氏／羅臼町立春松中学校 教頭・日本鳥学会会員

平成 25 年 2 月 26 日(土) 16:30～18:00

◆講座内容の概要

羅臼町立春松中学校教頭で、羅臼をはじめとする道東地域の鳥類の分類や生態に詳しい藤井薫氏を講師に迎え、冬の羅臼で観察できる身近な野鳥の楽しみ方に関する講座を開催しました。冬の羅臼沿岸には、オジロワシ・オオワシといった希少な猛禽類が数多く見られることから、国内はもとより世界各国から野鳥の観察を目当てにした観光客が訪れています。講座では、これら猛禽類をはじめ、羅臼町民の方々にとってなじみの深いカモメ類の見分け方や、羅臼では冬に見る事の出来るカラスの仲間であるワタリガラスの生態などを紹介いただきました。

見分けが難しいとされるカモメ類については、藤井氏による分類表を用いて分かりやすい解説をしていただきました。羅臼ではオオセグロカモメが民家の屋根で営巣するなどの被害が出ており、カモメ類には高い関心を持つ町民が多い一方、「多くの種類のカモメがいる事を初めて知った」という感想も聞かれました。今回は 17 名の方が参加されましたが、町民の方々が地域の身近な自然環境について知るためのきっかけとなる講座となりました。



写真. 講座の様子.